



支え合う心でつくる 誰もが 暮らしやすいまち

障がい者と聞くと皆さんはどんな人を思い浮かべますか？
手や足などが不自由な人は、外見で障がいがあることが分かりますが、内部障がいや精神障がい、知的障がい、発達障がいなど外見からでは分からない障がいのある人もたくさんいます。
町では、障がいのある人とない人が関わり合いながら共に楽しく生活していけるまちを目指して3月に「東郷町障がい福祉ビジョン」を策定しました。

地域の中で暮らす

町民一人一人の暮らしと生きがい、地域のつながりを作ること、障がいのある人もない人も共に楽しく、その人らしい生活を送ることができるようになります。

まな相談に応じられるよう相談体制を充実させます。

●障がいに対する理解の促進

障がいのある人が地域で安心して暮らせるよう、障がいへの理解を促すための広報活動やイベントを実施します。

障がいのある人も安心して生活できるよう、全ての町民が役割を持ち、公的な福祉サービスと協働して、助け合いながら問題を解決をしていくことが重要です。

地域における支え合い

町では、福祉サービスの利用を促しながら、障がいのある人が地域社会に参加し、交流できる機会を増やしていきます。

町が進める障がい福祉ビジョン

今回の計画では、3つの重点項目を進めていきます。

●障がいのある人の就労支援

障がいのある人が地域の一員として、それぞれの能力や特性に合った環境で仕事ができるように相談の機会を増やし、訓練の場を提供します。

●相談支援事業の充実

地域で生活していく中で、障がいのある人やその家族の困りごとなど、さまざま

障がいのある人が困っている姿を見かけるかもしれません。

誰にでも得意なこと、苦手なことがあり、その事柄はさまざまです。支える人と、支えられる人は区別するものではなく、誰もが支える側になり、また、支えられる側にもなります。

一人一人が地域社会の一員として、支え合う心で誰もが暮らしやすいまちづくりを進めます。

7月20日(金)
から福祉課で配布
を開始します。

ヘルプマーク

義足の人や内部障がい、発達障がいの人など、外見から分からないが援助や配慮を必要としていることを示すマーク。
身に着けている人への声掛けや電車、バスで席を譲るなど思いやりある行動が必要。



ほじょ犬マーク

身体の不自由な人の体の一部となって働く、身体障害者補助犬の同伴を啓発するためのマーク。
身体障害者補助犬とは、盲導犬、介助犬、聴導犬を言います。



耳マーク

国内で使用される、聞こえが不自由なことを表すマーク。
身に着けている人へは、声掛けなどのコミュニケーションに配慮が必要。



知っていますか?
誰もが共に
支え合うためのサイン

聴覚障害者標識

聴覚障害であることを理由に免許に条件を付されている人が運転する車に表示するマーク。
クラクションが聞こえないなどへの配慮が必要。



身体障害者標識

肢体不自由であることを理由に免許に条件を付されている人が運転する車に表示するマーク。



サポートハートマーク

東郷町在住の酒井晃太さんが考案。障がいや病気などで援助や配慮を必要としている人に対し、「援助する」意思を分かりやすく伝えるため、援助する側が身につけるマーク。



ホームページからダウンロードして一定の条件で使用できます。

見えない疾患・障害啓発プロジェクト

検索

障がい者相談支援事業所

福祉サービスや制度、日常生活の困りごとについて相談できる窓口です。
お気軽にご相談ください。

【身体・知的障がいのある人・障がいのある児童】

東郷町障がい者相談支援センター ローゼル

TEL : 0561-39-0994

FAX : 0561-37-5412

【精神障がいのある人】

地域活動支援センター 柏葉 はくよう

TEL : 0561-72-8800

FAX : 0561-72-4311

仕事がしたいけど、どんな仕事があるかしら。

自立して生活したいけど、一人暮らしは不安だな。

ボランティア活動に参加したいなあ。

友達が欲しいな。



問い合わせ

福祉課 ☎ 0561 (56) 0732